事 前 評 価 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)		業計画期間	平成22年度~平成26年度				
		(ごうのかわじょうりゅう) 江の川上流森林計画区 事: (広島県)	業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署				
事業の概要・目的		している。 機能類型別には、水土係 %)、資源の循環利用林728 当計画区では、林産物の 持、保全及び水源かん養等 物多様性の保全、森林環境 など多様化している地域か	機能類型別には、水土保全林10,988ha(88%)、森林と人との共生林686ha(6%)、資源の循環利用林728ha(6%)となっている。 当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。 当事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うこ					
				積 4,033 ha 長 3.5 km				
ZUNIWAYIII		総費用(С) 1	総費用(C) 1,726,618 千円 分析結果(B/C) 7.99					
評価結果		的機能の発揮や 必要性が認めら ・効率性: 費用対効果分 ・有効性: 国有林の地域 踏まえた計画的	 ・必要性: 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益 的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の 必要性が認められる。 ・効率性: 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性: 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を 踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図 られることから、事業の有効性が認められる。 					
		各観点からの評価を踏まえ べき機能(特に水源かん着	新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び 各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視す べき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計 画されていると認められる。					

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施地区名:江の川上流森林計画区(広島県)

事業実施主体:近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,374,159	
	流域貯水便益	1,286,759	
	水質浄化便益	1,814,920	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,432,142	
環境保全便益	炭素固定便益	958,624	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	47,294	
	木材利用増進便益	5,004	
	木材生産確保·増進便益	2,758,907	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	100,384	
	森林管理等経費縮減便益	1,597	
	森林整備促進便益	12,191	
総便益(B)		13,791,981	
総費用(C)		1,726,618	
費用便益比		7.99	